

相談支援部会 活動報告

テーマ：	＊相談援助職としての知識や技術の向上を図る。 ＊地域課題の抽出と協議会内での共有・協議を行い、改善・解決を目指す。 ＊障がい・高齢・医療分野等との多職種連携を進め、障がいのある方のよりよい地域生活支援をすすめる地域づくりを目指す。 ＊災害やパンデミック等の社会情勢に合わせた相談支援ツールの使い方を学ぶ（オンラインの活用など）。		
日時	場所	参加人数	内容
5月2日（月） 16:00～17:30	須磨区役所	8名	定例会 ・今年度の活動内容について確認 ・事例検討の方法について
8月1日（月） 16:00～17:30		17名	定例会 ・勉強会「看護記録の記入形式 SOAP について」 講師：訪問看護ステーション 38 中家看護師
11月7日（月） 16:00～17:30		9名	定例会 ・困りごとの共有や検討 ・上手くいったエピソードの紹介
2月6日（月） 16:00～17:30		11名	定例会 ・検討課題と地域課題のまとめ

【成果】

- ・SOAP（医療機関における看護記録の記入形式のひとつ）について看護師から学ぶ機会を持った。
- ・「福祉職場における人材育成」「同居の親子を担当する場合に気を付けていること」をテーマに意見出しをした。
- ・令和2～4年度で検討した課題をまとめ、意見交換ができた。

【課題】

- ・定例会に参加する事業所が少なく、引き続き相談支援部会が活性化する方法を考える必要がある。
- ・須磨区内には相談支援事業所が少なく、事業廃止または休止している事業所もある。
- ・介護保険など他領域との繋がり方が分かりにくい。
- ・支援が必要な方がいても、ご本人の意向に反する場合には良い手立てが見付けにくい。特に金銭管理などに課題がある方への支援は悩む。

【2023年度に向けて】

- ・事業所同士が横の繋がりの中で相談支援の質を高め合っていくために、定例会は2ヶ月に1回の開催とする。
- ・高齢ケアマネとの事例検討会を企画する。
- ・家計相談で上手くいっているケースなどを共有し、支援の幅を広げる。
- ・相談者の困りごとを通して、地域課題を整理する。
- ・個別支援会議であがった課題についても部会内で共有し、議論する。